



山ざくら

十九号

めざます

企業の繁栄と

社会への貢献

法人会



公益社団法人 松阪法人会女性部会

女性部会だより

発行日 平成 28 年 6 月 9 日

発行所 松阪市若葉町 161-2



松阪法人会女性部会の歌



1 歴史を誇る 松阪の
朝日に輝く 山桜
税の知識を 学びつつ
今日の幸せ しみしめて
企業につくす 法人会
ああ楽しき集い 女性部会



2 もみじ葉映える 高見山
流れは清き 香肌峡
納めし税を 見守りて
明日に夢を ふくらませ
地域につくす 法人会
ああ希望にみちた 女性部会

3 四季をいろどる 大台ヶ原
お茶の香りや 多気の郷
ともに結びし 納税だすき
未来に道を 開かんと
社会につくす 法人会
ああ みなぎる力 女性部会



ごあいさつ



会長 岩間 弘

松阪法人会女性部会の皆様には、日頃から本会の活動に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

また、女性部会の皆様は、夏休み親子映画会、税に関する絵はがきコンクール、租税教室などの諸活動を通じて、永年にわたり次代を担う子供達の税に関する意識の向上に取り組んでいただいておりますこと、重ねて御礼申し上げます。女性ならではの視点で、納税意識の高揚と税務行政の円滑な運営に取り組んでいただき、本当にありがとうございます。

さて、松阪法人会は、永年にわたり定款に定める目的である「適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するとともに、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献する」ことを目指して多様な活動を推進してまいりましたが、会員の減少傾向に伴う会費収入の逡減など、財政的には厳しい状況にあります。こうした環境の下で当会の目的を達成するため、今後、事業内容の見直しなどの改革に取り組んでまいりますので、女性部会の皆様の更なるご支援を切にお願い申し上げます。



松阪税務署長 伊藤 嘉浩

公益社団法人松阪法人会女性部会 会報「山ざくら」第19号の発刊に際し、ご挨拶申し上げます。

女性部会の皆様方におかれましては、平素から税務行政に対しまして、深いご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年7月に松阪に着任して以来、女性部会の皆様の活発な活動状況を拝見させていただいておりますが、中でも「夏休み親子映画会と税金クイズ」や「租税教室への講師派遣」では、いかに小学生を楽しませながら、税の役割や必要性を学んでもらうかに工夫を凝らしていることなど、大変心強く感じております。

女性部会の皆様方におかれましては、今後とも引き続き活発な部会活動を通じまして、税務行政に対する一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝とその事業のご繁栄をお祈り申し上げます。



今年も「魅力ある女性部会」 をめざします。

女性部会長 山中 藤枝

女性部会の皆様には、日々ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

法人会組織の一員としての活動は、未来を担う児童の皆さんに税の仕組み、税の大切さを伝える「夏休み親子映画会」での租税教育、又社会活動への参加のきっかけとなる「絵はがきコンクール」等は女性部会活動の大きな柱となっています。

健全な納税意識の向上を女性の持続性を活かし、調和のとれた豊かな心で取り組んでいます。

女性の力を存分に発揮し、積極的に活動する事こそ、地域社会の元気な成長が約束されます。

皆様のパワーをますます集結させ税のオピニオンリーダーとして、まちの発展に貢献していきたく思っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成27年

Photo 活動記

春

部会員会議・記念講演会
6月4日

本年度は任期満了に伴う役員改選により、岡前部会長から山中新部会長に交代し、新体制でのスタートとなりました。

盛りだくさんの活動を会員一丸となりすすめます。



岡前部会長、長い間お疲れ様でした。

松阪撫子どんな花？祭り

5月23日



岡寺山継松寺にて



大かるた大会

第9回松阪撫子どんな花？祭りに参加しました。岡寺山継松寺では「松阪撫子百人一首」の大かるた大会に、署長をはじめ女性部会員さんが詠み手となり、奮闘しました。上位三位までは賞品もあり、地域の文化継承と街のにぎわいに華をそえてました。



♪♪ 新体制スタート



「プロフの元編集者 現自力整体ナビとして考える元気な町」
講師：自力整体ナビゲーター
佐藤 まき子 氏

体の不調のタネの多くは自分の生活の中に見つけられそうという事です。自力整体を学んで自分の力で元気になれば良いなあと思いました。



租税教室活動

夏休み親子映画会

8月22日

今年で7回目となりました「夏休み親子映画会」
まず作品づくりから始めて、配役、小道具と担当に分かれて作業にかかりました。租税教育のための寸劇は松阪の歴史にちなんで去年は「本居宣長」今年は「蒲生氏郷」を主とし、シナリオは前統括に書きおろしていただきました。少ない練習時間と夏の暑い中、出演された皆さん集中して役作りに取り組んで頂きました。

子ども達があっと驚く
印象深いものと考え
「手作り甲冑」をお借りし
子ども達の目を引き付けて
からの租税教育。



今回税の啓発がどれくらいできたかな？と、
子ども達の反応と表情を見ていると、不安も吹き飛び
気持ちの良い達成感を味わわせていただきました。



今年の上映作品は
「アナと雪の女王」でした。



「甲冑ってどのくらい重たいやろか？」
興味深々の親子に、被って重さを感じる体験もしてもらいました。



けん太くんの案内も子ども達には大人気でした。



「整列してドアが開くのを待つ小学生」

予定より早く入場していただきました。
続々小学生の入場にまずはホッと一安心。

皆さまお疲れ様でした



税務研修会・健康講座

10月6日



テーマ：「税務署の仕事」

講師：松阪税務署法人課税
第一部門統括国税調査官
服部 健太郎 氏

合同ボウリング大会

10月16日



今年も女性部会主催の合同親睦ボウリング大会が、総勢67名という過去最高の参加人数で盛大に開催されました。平素、机の上での仕事が多い方にも爽やかな汗を流していただけたのではないのでしょうか!?

「ご自身の身体とのお付き合いの仕方」
～ちょっと知っててよかった！
これからの生活～



講師：リパデトックス整体 Luce
整体師 武市 かすみ 氏

企業のトップでご活躍の女性部会の皆さんですが…何よりも健康が一番！！ですね。食事・睡眠・入浴、簡単なリンパ体操等、そして何よりも自分で体の声を聴き、いっぱい笑って自身の力で健康でいられるようにと、沢山のヒントをいただきました。

歩け歩け大会

10月25日

木枯らしに
帽子飛ばされ
長谷川公恵
里の道



まつさかを歩いて動物と触れ合い、古墳を巡ろー!!
～嬉野保健センター前～三重県農業・畜産研究所～



晴れ渡りはしたものの木枯らし一号の強烈な風が吹く中、農業試験場を中心に歩きました。嬉野町出身で戦後の農業の礎を築いた東畑博士の業績にふれ、思いを新たにしたい一日でした。又、ふるさと会館で古墳の出土品の展示等を見学しました。

第5回 税に関する絵はがきコンクール

11月14日・15日

11月14日（土）15日（日）の2日間、イオンモール明和にて「税金展」が開催され、会場では各団体が募集した作品の展示と「税に関する作品合同表彰式」が行われました。

松阪法人会 会長賞



明和町立斎宮小学校 6年
小山 凜さん

松阪税務署長賞



松阪市立花岡小学校 6年
富山 来輝さん

松阪法人会 女性部会長賞



松阪市立松江小学校 5年
稲葉 心美さん

優秀賞の皆さん



松阪市立德和小学校 6年
野村 秀喜さん



女性部会が主体となり、租税教育活動の一環として小学校高学年を対象に募集した作品はどれも力作ぞろい。その中から11作品が選ばれ表彰させていただきました。



松阪市立第四小学校 6年
中井 飛路さん



松阪市立花岡小学校 5年
安木 心優さん



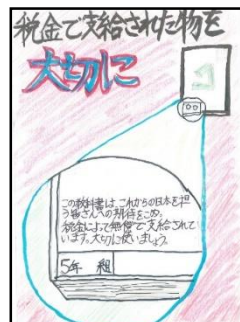
松阪市立第一小学校 5年
田中 悠理さん



明和町立下御系小学校 5年
羽根 れいらさん



松阪市立第五小学校 5年
中里 倖輔さん



松阪市立松尾小学校 5年
太田 雅宗さん



松阪市立朝見小学校 6年
岡田 七海さん

年末署長講演会・懇談会

12月17日



恒例の税金クイズの答え合わせで盛り上がり、今回はコース料理ということで各テーブル部会員様同士、ゆっくりとお話できたのではないのでしょうか 😊



演題：「税の役割と税務署の仕事」

～税金ってなに？～

講師：松阪税務署長 伊藤 嘉浩氏

「税は社会を作る」
の文字にビックリ！



税務研修会と趣味講座
2月4日



テーマ：「確定申告のポイント」

講師：松阪税務署法人課税
第一部門統括国税調査官
服部 健太郎 氏

ステンドクラスの雰囲気
を醸し出す「グラスア
ート」細かい作業に少し苦
労しながらも皆さん和気
あいあいと取り組み、出
来上がった自分だけの作
品を手元に優しい色と光に
癒されました。



テーマ：「グラスアート」
講師：岩塚 千幸 氏

租税教室

今年も3校の小学校へ租税教室に行かせていただきました。
大切な授業を1時間任せさせていただくということで、講師の皆さんの
プレッシャーは相当なものでしたが、一生懸命練習を重ねて臨みました。
税金を納めるのが当たり前という環境で育っている今の子どもたちは、税の知識が豊富で、
未来を担う子ども達に頼もしさを感じました。



豊地小学校 1月22日 39名



漕代小学校 1月26日 29名



花岡小学校 2月2日 111名

後に頂いたアンケートでは、
「身の回りに沢山の税金があること」の理解度は100%。
租税教室の感想は「よく分かった」95%という結果でした。



日本笑い学会

三重支部

日本笑い学会とは・・・

人は誰でも笑うが、もし笑わなかったとしたら、この世はどうなるだろう？
また、笑いのない人生なんて考えられるだろうか？

「笑い」に強い関心をお持ちの方なら、誰でも入会できる「市民参加型」の学会。会員は北海道から沖縄までほとんどの県に及んでおり、その職業も大学教員、医師、作家、会社員、主婦、大学生、新聞記者、高校教諭、アナウンサー、僧侶など多岐にわたる。
現在、全国に15支部、会員数約1000名に達している。
活動目的として、「笑いの総合研究」と「笑いの文化の発展」に寄与することが掲げられている。

三重支部とは・・・

日本笑い学会の一支部で、2000年3月の理事会で設立を承認された。現在、所属している会員数は、約40名。

〈活動要旨〉

暮らしと生活の中における癒しとしての「笑い」の研究と実践

- ① ユーモアスピーチや笑い療法などの実践活動を報告・研究し、「笑い」を共有する期間を持つこと
- ② 地域の老人会や医療・保健・福祉のマジック・落語・笑い・ヨガなどのパフォーマンスを行い「笑い」の実践を積み重ねること



演題：「笑いの大切さ」

講師：〈日本笑い学会会員〉

三重県看護連盟監事 菰野厚生病院元看護部長
日本笑い学会会員 中井 夕美子
日本笑い学会三重支部事務局長 看護師
中村 富美



さあ、皆さん！お腹の底から大きな声で笑いましょう(*^▽^*)

